

# 雑木林ファンクラブ 通信

住所: 〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Phone 045-894-7474

## ーノートルダム寺院の大規模火災ー

今回の大規模火災に少なからずショックを受けた。石造建築があんなに燃えるとは？屋根は木造だったとは知らなかった！当方建築を専攻しており、思い起こせば学生時代に勉強にかこつけて欧州旅行を一カ月ほどしたことがある。その時に印象に残ったのがこのノートルダム寺院とドイツのケルン大聖堂(ドーム)である。両社は対照的でノートルダムはフランス語で「我が貴婦人」つまり聖母マリアを指すとのこと、全体が優雅で親しみやすい。特に壁面のフライング・バットレス(屋根のボルトにかかる荷重を支えている)は構造体が建物のデザインとなっており、他の寺院にない軽やかな印象を与える。対してケルンドームは世界最大のゴシック建築で尖塔の高さが何と約160m！石造りで！重々しくスケールに圧倒されたことを覚えている。着工が1248年で完成が1880年で600年余りの歳月で造られた。もっとも途中工事が約300年にわたって中断され放置されていたところ、あのルター達の努力で完成した。ノートルダム寺院もフランス革命以後宗教批判の市民によって破壊され一時廃墟になったことがあり、ビクトル・ユーゴ達の運動で修復された過去がある。また落雷によっても度々火災を起こしている。このような世界遺産等の文化遺産の受難は日本でも、法隆寺金堂全焼(1949年1月)6年後再建、金閣寺全焼(1950年7月)5年後再建がある。

フランスでは、ノートルダム再建の寄付金が早くも総額1000億円を超えたとされる。この復興寄付にフランス庶民が大反発！特に黄色いベスト運動が人間より石が優先されるのかと反発を強めている。マクロン大統領は5年で再建すると言っているが、専門家によると焼失した屋根だけでなく石造本体の劣化(知らなかったが外壁は大理石)を指摘しており、果たして再建はいつになるのか？ 東工大上田教授の言を借りると「文化財は国境を越えた価値をもっている。その遺産があることによって、自分たちの文明、自分自身の存在を支えられているという畏敬の念をかきたてる部分があり、この大規模火災は文化財の意味を問いかけている」

記 谷垣

## 1. 3月運営会以降の活動実績

- 3月16日(土) 16名 クヌギ1本玉切り搬出、ホダギ打ち込み 作業小屋修理
- 3月25日(水) 14名 ドラム缶窯炭焼き準備
- 3月23日(土) 11名 アベマキ伐倒 炭焼き ZFC 通信印刷発送
- 3月27日(水) 19名 ドラム缶窯炭焼き2日目 SF準備
- 3月30日(土) 19名 ヒノキ製材 SF準備
- 4月3日(水) 16名 ドラム缶窯炭焼き 炭だし SF準備
- 4月6日(土) 15名 竹林整備 SF準備 持参品のチェック
- 4月10日(水) 10名 炭小屋作業 SF準備 持参品のチェック
- 4月11日(木) SF木工品他積み込み
- 4月12日(金) 20名 スプリングフェア
- 4月13日(土) 23名 スプリングフェア
- 4月14日(日) 20名 スプリングフェア
- 4月17日(水) 18名 SF片付け 竹林整備 道具整備

## 2. 連絡、確認、提案

### 1. ドラム缶窯炭焼き結果報告(谷垣さんのメールを小島が報告)

1窯、2窯とも2度焼きを実施、1窯炭材量 75.5kg 2窯 60.6kg 1窯は3列横置き  
2窯 横置き

1回目 3月23日 9時30分着火 15時密閉 2回目 3月27日 9時着火 15時密閉

結果 出炭率 1窯 4.7kg(6.2%) 2窯 3.6kg(5.9%)

ほとんど燃えたため、出炭率が低かった。原因としては窯の密閉度が低いことが考えられるので、密閉度を測定する予定

### 2. スプリングフェア売り上げ報告(星隈)

12日売り上げ 34,200円 13日 94000円 14日 49,000円 アルプホルン 17,550円  
コースター 4,600円 花駕籠 16,600円 丸太切 1,600円 トータル 222,300  
SF準備の時間が短かったことから、もっと早くから取り組んだらどうかとの提案があった。  
また横浜公園に統一されるかどうかは不明 山下公園ではイベントを行うのは無理

### 3. パンダ公園出店について(小島)

5月11日(土) 11時より午後2時まで 広さは 3m×3m

鈴木さんと小島が行く予定。他に大越節子さんは不明。小島が車を出す予定だが、ベニヤ板が車に入るか確認する必要あり

### 4. 炭焼き体験(5月18日)の応募者の現状と炭焼き実施内容について

現在4組 10名の応募あり。炭焼きはドラム缶で行う。炭焼き担当は谷垣さん(?)と星隈さん  
炭材作りに応援をお願いします。当日の進行は池澤さんをお願いします。

### 5. 日清オイリオ間伐体験日程について(片岡)

6月15日と22日の要望があったが、15日に決定 先方に連絡する

### 6. 2019年度上期実行計画について(星隈)

意見と質問について ほど木ほん伏せ 6月に変更 本窯の炭焼きは11月、3月は寒いのではとの意見あり、10月もあり得る しかし材の関係で難しいのではという指摘あり

3月から7月は野鳥の繁殖期でできれば伐倒は避けてほしいとの要望がセンターよりあり

これは横浜市内の森づくりのガイドラインに沿った要望とのこと。8月に伐倒して11月に炭焼きをするのが最善の策 その他 ウインチを固定するアンカーについて

午後も全体作業をするために朝礼で作業の見直しをしたらどうか 全体的に作業時間が短い  
午後も行えば効率が上がる

若干の修正をして、掲示板に掲載の予定

### 3. 4・5月の活動予定子苗

4月24日(水) 炭小屋内作業 炭材準備

4月27日(土) 炭材準備 ZFC通信印刷発送 マキ小屋整理

5月 1日(水) 炭小屋内作業 炭材準備

5月 4日(土) 炭材準備 竹林整備 パンダ公園出店準備 マキ小屋補修材準備

5月 8日(水) 活動休止

5月11日(土) 炭材の窯入れ パンダ公園出店 マキ小屋補修(状況によっては 15 日に変更有)  
保全管理フォローアップ(午後)

5月15日(水) 炭小屋内作業

5月18日(土) 森の作業体験(炭焼き体験) 2時まで その後運営会 炭焼きは5時ごろまで継続

5月19日(日) 定例会 理事会

5月22日(水) 炭小屋内作業

5月25日(土) ZFC通信印刷発送 しいたけ畑の整備 クヌギ林大径木調査(行政と調整して日程を決める) 炭小屋整備

5月29日(水) 炭小屋内作業

その他必要に作業内容と日程変更有

— 以 上 —